

09 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田廣一	参加 メンバー	CL:津田廣一、SL:天野広 佐溝直彦、浅田由徳、 亀山誠、竹内幹雄、 藤田勝啓、上田正博 井出敦夫・敏子、津田利栄子 上杉由紀子、日比道代
		報告日	9/28		
山城	静岡県の山	山行日	20年9月26日(土)		
山名	真富士山				
山行目的	秋例会山行		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



8/26 小雨
6:00 刈谷発
8:30 真富士の里
9:05 第3登山口 P
9:15 第3登山口 P 発
10:15 オイ平 1本
(10分)
11:05 真富士神社
11:15 真富士山頂(第1)
(山頂で30分)
12:00 真富士峠
12:15 オイ平 1本(5分)
13:05 第3登山口 P 着
14:00 真富士の里解散



苔の道を登る



真富士神社前の広場



真富士神社

〈山行報告〉計画書を出したものの、天気予報がコロコロと変わる。26日にするか、予備の28日にするか、迷いに迷った。前日の朝の予報は9~15時は晴。“よし、決行だ!”参加者へ連絡メールを入れた。午後になり、予報が悪い方へ変わっていく。富士山は見えずとも、雨まで降らないだろうと予測し、そのままGO。集合場所の「真富士の里」へ。8:30に予定通り集合、簡単に自己紹介を済ませ、2台の車へ便乗して第3登山口へ。小雨の中、登山準備をして出発。登りだすや、誰かが、すぐにヒルを発見。下見の時には見なかったが、雨で出てきたのか?ペースは上がり、30分で滝の見える所に到着。「休憩はしなくてもいい?」と声かけするも、「休憩する」という者がいない。苔が美しい道だが、ヒルが気になり、きっちり1hでオイ平へ。ヒルを気にしての休憩だ。2ピッチで真富士神社へ。そして、真富士山山頂へと一気に登った。真っ白で眺望なし。全員で写真を撮ろうとしたところで、アクシデント。タイマーセットし、竹内さんが私の後ろへ廻りこんだ時に、バランスを崩したらしくいきなり私の体が引っ張られ、思わず振り返ると井出さんの右腕で支えられて事なきを得た。(岩の後ろ側は、すっぽりと切れており落ちると大変な事に)位置を反対側に変更してパチリ。昼食を食べていると、雨が本降りになりだした。カッパを着て、樹林の中に逃げ込む。真富士峠で、「第2真富士山へ行くか?」確認するも、「悪天の中、無理していく事もない。私は下りたい。」との天野SLの意見に、全員が賛同。計画を変

更して全員で下山する事にした。急坂の道を滑らない様に気をつけながら下るが、皆、苦戦している。下りは早い。あっという間にオイ平へ。そして、小休憩後、第3登山口へ一気に下った。真富士の里で、地産のお土産を買い、解散となった。登りはヒル、下りは滑りに悩まされた山行ながら、それなりに楽しめた山行であった。真富士山からは、「天気の良い時に、又、おいで!」と言われていた様子にも感じた。

〈リーダー所見〉
天候だけで考えると、予備日の28日の方が正解だったが、天候予測は難しい。28日だと参加できない人もおり、予定通りに行って良かったのではないかと、思う。最も、注意すべきは、山に事故はつきもの。今回も山頂であわやと思う事があった。雨の第2真富士山断念は、正解だったと思われる。安全登山に徹したいものである。



残念、富士山、見えず。でも、皆、いい顔してるでしょう。

確認
(リーダー)
津
20/09/28
田
作成
(報告者)
津
20/09/28
田